

報道機関 各位

親子のはじまりを支えるシンポジウム 「こころの根っこを育むために」開催のお知らせ

岐阜大学教育学部は、9月15日(月・祝)に、子どもの心に関わる支援者および一般市民の皆様を対象としたシンポジウム「こころの根っこを育むために～親子のはじまりをつなぐ～」を開催します。

乳幼児期は、子どもの「こころの根っこ」を育み、生きる力の土台を築く重要な時期です。子育ては親だけの責任ではなく、社会全体で支えるべきものであり、すべての大人にその役割があります。子どもが「自分は大切にされている」「ここにいていい」と感じられるよう、私たちは寄り添い、見守る責任があります。

安心して産み、育てられる地域社会を実現するために。今、親子にとって本当に必要な支援とは何か、親子のはじまりを支えるための“あったらいいな”について、参加者とともに考えます。

つきましては、当日の取材及び事前の取材について、ぜひご検討願います。

記

- 日時:2025年9月15日(月・祝) 13:00~16:30
- 場所:OKB ふれあい会館 大会議室 (岐阜市藪田南5丁目 14-53)
- 対象:子どもの心に関わる支援者、一般市民
- プログラム内容:
 - 13:10 「近年の子育て支援の動向」講話
北川 小有里(本巣市健康増進課 臨床心理士/公認心理師)
 - 13:30 シンポジウム「それぞれの現場の取り組みと思い」
鈴木 美砂子(岐阜県総合医療センター 臨床心理士/公認心理師)
片桐 真由美(岐阜市子ども・若者総合支援センター 副所長/
こども家庭センター 統括支援員・保健師)
川島 俊樹(川島東こども園 園長/
岐阜県民間保育所・認定こども園連盟 事務局長)
西岡 はるな(NPO 法人トリニティネット 代表)
篠田 由佳(NPO 法人トリニティネット 子育て支援事業部リーダー)
 - 15:30 フロアディスカッション(参加者との意見交流)
 - 16:30 閉会

※詳細は、添付チラシをご覧ください

● シンポジウムの趣旨

日本の子育て支援においては、「妊娠・出産・育児」が切れ目なくつながるように、制度が拡充されてきました。経済的支援が強化され、「伴走型相談支援」や「子ども家庭センター」の設置等により、地域と連携しながら、早期からの相談や見守り体制も整ってきています。

それにもかかわらず、日々のニュースや SNS 等から見えてくるのは、孤独と不安のなかで、声をあげられない親子の存在です。厚生労働省の発表によると、2023 年度の児童虐待相談対応件数は過去最多の 22 万 5509 件を記録しています。さらに、一般社団法人「いのち支える自殺対策推進センター」の調査では、2022 年以降の 3 年間で 162 人の妊産婦が自殺しているという深刻な事実も明らかになっています。

私たちはこの事実を、どう向き合えばよいのでしょうか。親子の声なき声にどう応えていけばよいのでしょうか。

2022年、子どもと家族に「こころの支援」を届けるしくみをつくりたいと考え、岐阜大学教育学部の松本拓真准教授がこころのげんき株式会社とコラボレーションで「ここあプロジェクト」を立ち上げました。「ここあプロジェクト」の活動を通して、このような状況に陥っている親子に寄り添い、支えていくヒントは、地域の様々な現場での取り組みにあるのではないかと考え、今回、シンポジウムを企画しました。

シンポジウムでは、医療・行政・保育・NPO の最前線で活躍している支援者と、「現場の取り組み」「支援者の思い」について語りあいます。安心して産み、育てられる地域社会を実現するために。今、親子にとって本当に必要な支援とは何か、親子のはじまりを支えるための“あったらいいな”について、参加者とともに考えます。

本件は「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想のうち下記を推進するものです。



「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想:

https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu_miraie.html



岐阜大学は国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

MAKE NEW STANDARDS.



東海国立大学機構 HP: <https://www.thers.ac.jp/>

問い合わせ先

岐阜大学教育学部 学校教育講座教育心理コース
准教授 松本 拓真
E-mail: matsumoto.takuma.h0@f.gifu-u.ac.jp

ここあプロジェクト “あったらいいなシンポジウム”

岐阜大学シンポジウム



こころの根っこを 育むために ～ 親子のはじまりからをつなぐ～

乳幼児期は、こころの根っこを育み、生きる力の土台をつくる大切な時期です。子育ては親だけの責任ではなく、社会全体で支えるべきものであり、すべての大人にその役割があります。昨今では、国をあげて子育て支援制度の整備が進められ、地域では妊産婦や親子を支える活動が広がっています。

一方、日々のニュースやSNS等から聞こえてくる声からは、孤独と不安のなかで、声をあげられない親子の姿が見えてきます。子どもと家族に「こころの支援」を届けるしくみをつくりたいと願い、2022年に始まった「ここあプロジェクト」。

今、私たちができるのは、様々な現場の「最前線の取り組み」と「支援者の思い」を伝えることではないかと考えました。

地域で安心して産み育てることができるように。

参加者の皆さんとも一緒になって、親子のはじまりを支えるための“あったらいいな”について、考えていきたいと思います。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



2025年

日時

9月15日 月・祝
13:00-16:30 (開場12:30)

会場

OKBふれあい会館
大会議室 岐阜市藪田南5丁目14-53

参加無料

定員150名
先着順

お申込みは、こちらのフォームから

<https://forms.gle/QtLn4xaMpVmdUsgHA>

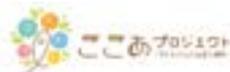


主催／岐阜大学 共催／こころのげんき株式会社 後援／岐阜県子ども・女性部 子育て支援課

岐阜市子ども政策課、岐阜市教育委員会

(一社) 岐阜県私立幼稚園連合会

(一社) 岐阜県民間保育園・認定こども園連盟



こころの根っこを育むために

～ 親子のはじまりからをつなぐ ～

2025年9月15日（月・祝）13:00～16:30（会場：OKBふれあい会館）

タイムスケジュール

13:00 挨拶と趣旨説明

13:10 「近年の子育て支援の動向」

北川 小有里（本巣市健康福祉部健康支援課

臨床心理士／公認心理師）

13:30 シンポジウム 「それぞれの現場の取り組みと思い」

医療機関の立場から

鈴木 美砂子（岐阜県総合医療センター臨床心理士／公認心理師）

行政の立場から

片桐 真由美（岐阜市子ども・若者総合支援センター副所長

／岐阜市こども家庭センター統括支援員 保健師）

保育の立場から

川島 俊樹（川島東こども園園長

／岐阜県民間保育園・認定こども園連盟副会長）

NPOの立場から

西岡 はるな（NPO法人こどもトリニティネット代表）

篠田 由佳（NPO法人こどもトリニティネット

子育て支援事業部リーダー）

..... 休憩

15:30 フロアディスカッション

参加者との意見交流

16:30 閉会

ここあプロジェクトとは

2022年3月、こころのげんき株式会社と松本拓真（岐阜大学）のコラボレーションで始めたプロジェクトです。子どもと家族への心理療法・こころの支援を提供できる場所を確保するため、専門家及び地域の人々の協力のもとに、プロジェクトを推進します。この取り組みがひとつのモデルとなり、皆様の手によって、全国各地に子どもの支援を提供できる場所が広がっていくことを願っています。

友だち募集中！



ここあプロジェクト公式ライン

お問合せ

松本 拓真（岐阜大学教育学部教育講座心理学コース）



matsumoto.takuma.h0@f.gifu-u.ac.jp